



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

玉井商船

上場会社名 玉井商船株式会社

上場取引所

大

コード番号 9127

URL <http://www.tamaiship.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本馬 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 木原 豊 (TEL) 03-5439-0260

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	3,512	5.6	△28	—	△108	—	△106	—
24年3月期第2四半期	3,326	△4.8	106	△76.1	△32	—	△37	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △154百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.51	—
24年3月期第2四半期	△1.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	13,729	4,838	34.1
24年3月期	14,692	5,052	33.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 4,685百万円 24年3月期 4,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

・25年3月期期末配当予想額は、現時点では引続き未定です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	2.3	△220	—	△370	—	△190	—	△9.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	19,320,000株	24年3月期	19,320,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	10,941株	24年3月期	9,765株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	19,309,981株	24年3月期2Q	19,310,741株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

25年3月期期末配当につきましては、現時点で引続き未定とさせていただき、今後の業績推移や事業環境などを勘案した上で、予想可能と判断されるに至った時点で、あらためてお知らせすることとさせていただきます。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな回復に留まり、欧州では南欧諸国の債務不安による財政緊縮で成長が押し下げられ低迷し、アジアでは中国やインドなど新興国で欧米の景気低迷を受け輸出が急減速したことなどから経済もペースダウンする結果となり、世界全体で経済が減速しました。一方、わが国では震災の復興需要が経済を下支えしているものの夏場以降、個人消費や輸出が停滞し景気は低迷しました。今後更に対中国関係の悪化で輸出回復の遅れによる景気後退が懸念されています。

外航ドライバルク船の海運市況は、好況時に大量発注された新造船が次々と竣工し老齢船の解撤が進んでいるものの船腹供給圧力が高く、一方、昨年末頃から世界経済が減速したことなどから船腹需要が弱含みで推移し、船腹需給バランスが崩れ、特に大型船では深刻な低迷が長期化しました。

このような状況下、当社グループの外航海運部門では、ハンディマックス船型を中心に効率的な輸送を行いましたが、前第2四半期連結累計期間に比べ航海数が増加したことで増収となったものの、市況水準が低迷したことや対米ドルの為替相場が円高で推移したことに加え、燃料価格が高騰したことなどにより運航費が大幅に増加というマイナス要因があり減益となりました。一方、内航海運部門では、ドライ貨物の輸送量は未だ震災前の輸送量に戻らず、タンカー貨物では、安定収益を確保する目的で4月より新たに所有船1隻を定期貸船に変更したことで、部門全体として前第2四半期連結累計期間に比べ減収となりましたが、一部支配船の定期検査に伴う特別修繕引当金の取崩があり船費が減少したことなどにより増益となりました。当社グループ全体では、対前第2四半期連結累計期間比で増収・減益となりました。

この結果、営業収益は3,512百万円（対前第2四半期連結累計期間比185百万円、5.6%増）、営業損失は28百万円（前第2四半期連結累計期間106百万円の営業利益）、経常損失は108百万円（前第2四半期連結累計期間32百万円の経常損失）、また四半期純損失は106百万円（前第2四半期連結累計期間37百万円の四半期純損失）となりました。

平成24年9月24日、Vancouver向け航行中の当社グループが所有・運航する「NIKKEI TIGER」が宮城県金華山東方沖において漁船「堀栄丸」と衝突する海難事故が発生いたしました。漁船はその後沈没し、「NIKKEI TIGER」は事故現場にて海上保安庁及び堀栄丸の僚船と捜索活動を行いましたが、全力の捜索にもかかわらず、堀栄丸の乗組員22名のうち、現在も13名の方が行方不明となっております。

事故原因につきましては、現在、国交省運輸安全委員会にて調査中ではありますが、事故の当事者として多くの方々にご迷惑、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ・外航海運業

支配船舶による北南米からの輸入穀物や南米からの水酸化アルミ、日本からのスラグなどの輸送を行い、運航採算の向上に努めました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、市況の低迷や円高による影響があったものの、短期用船などにより航海数が増加したことなどにより、2,845百万円（対前第2四半期連結累計期間比271百万円、10.5%増）となりました。営業費用は、燃料油価格が上昇したことによる運航費の増加、短期用船したことによる借船料の増加、昨年11月にリプレイスした船舶に掛かる減価償却費（船費）の増加などにより全体として大幅に増加しました。以上の結果、営業利益は、130百万円（同△213百万円、62.1%減）となりました。

- ・内航海運業

所有船によるボーキサイト残渣輸送、定期用船2隻による水酸化アルミなどの輸送を行い、安全輸送と効率配船に努めるとともに、所有船2隻の定期貸船により安定収益の確保を図りました。

営業収益は、前第2四半期連結累計期間に比べ、新たに所有船1隻を自社運航から定期貸船に変更したことなどにより、594百万円（対前第2四半期連結累計期間比△84百万円、12.5%減）となりました。営業利益面では、定期貸船に変更したことで運航費の減少、所有船の定期検査に伴う特別修繕引当金の取崩があり船費が減少したことで営業費用が大幅に減少し、83百万円の営業利益（同73百万円、740.1%増）となりました。

- ・その他

当セグメントにおいては、営業収益は、72百万円（対前第2四半期連結累計期間比△1百万円、1.6%減）、営業利益は、21百万円（同0百万円、4.7%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ963百万円減少し、13,729百万円となりました。主な内容は、流動資産が主に現金及び預金やその他流動資産の減少などにより521百万円減少し、固定資産は、主に減価償却に伴う船舶の減少などで442百万円減少したことによるものです。負債は8,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ748百万円の減少となりました。これは、海運業未払金、前受金の減少などによる流動負債の減少が315百万円、長期借入金、特別修繕引当金の減少などによる固定負債が433百万円減少したものであります。

純資産は、四半期純損失106百万円や配当金57百万円などにより株主資本の減少164百万円とその他有価証券評価差額金の減少によるその他の包括利益累計額の減少46百万円と少数株主持分の減少2百万円により、前連結会計年度末に比べ214百万円減少し、4,838百万円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、営業活動の結果得られた資金210百万円、投資活動の結果使用した資金23百万円、財務活動の結果使用した資金358百万円などを加減した結果、前連結会計年度末に比べ199百万円減少し、1,754百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、210百万円（前第2四半期連結累計期間比125百万円の収入増）です。これは、税金等調整前四半期純損失161百万円が計上されているうえに、減価償却費446百万円などの非資金費用の調整などがあり、その他の資産の減少額207百万円、支払利息72百万円などの増加項目に、前受金の減少額259百万円、特別修繕引当金の減少額85百万円などの減少項目を加減した結果によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、23百万円（前第2四半期連結累計期間比875百万円の支出減）です。これは、主に船舶の資本的支出に伴う有形固定資産の取得による支出20百万円などによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、358百万円です。（前第2四半期連結累計期間比960百万円の支出増）です。これは、主に長期借入金の返済による支出278百万円、株主への配当金の支払額57百万円、支払手数料30百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結会計期間以降における業績予想の見直しを行った結果、平成24年8月8日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成25年3月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示する「平成25年3月期第2四半期（累計）業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第3四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (平成24年8月8日公表)	今回予想 (平成24年11月9日公表)
期中平均為替レート	1US\$=80円	1US\$=78円
予想燃料油価格	US\$680/MT	US\$680/MT

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,054,606	1,754,814
海運業未収金	267,891	220,986
貯蔵品	293,854	297,243
繰延税金資産	105,505	34,258
その他流動資産	515,907	409,396
流動資産合計	3,237,764	2,716,699
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	9,027,567	8,602,980
建物（純額）	324,047	316,827
器具及び備品（純額）	5,842	7,302
土地	168,938	168,938
建設仮勘定	1,220,000	1,220,000
その他有形固定資産（純額）	5,592	5,872
有形固定資産合計	10,751,988	10,321,920
無形固定資産	4,179	4,518
投資その他の資産		
投資有価証券	497,359	377,458
繰延税金資産	120,620	229,429
その他長期資産	80,560	79,361
投資その他の資産合計	698,541	686,249
固定資産合計	11,454,708	11,012,687
資産合計	14,692,473	13,729,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	334,178	290,552
短期借入金	30,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	579,110	600,880
未払法人税等	25,194	2,591
前受金	600,368	341,328
賞与引当金	45,524	43,337
役員賞与引当金	8,800	—
その他流動負債	153,036	141,633
流動負債合計	1,776,212	1,460,324
固定負債		
長期借入金	6,862,264	6,561,824
繰延税金負債	431,867	391,538
退職給付引当金	126,836	119,965
特別修繕引当金	192,820	107,235
長期未払金	121,800	121,800
資産除去債務	11,897	11,996
その他固定負債	116,583	116,605
固定負債合計	7,864,069	7,430,965
負債合計	9,640,281	8,891,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	702,000	702,000
資本剰余金	280,268	280,268
利益剰余金	3,895,952	3,731,551
自己株式	△1,210	△1,312
株主資本合計	4,877,011	4,712,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,107	△26,537
その他の包括利益累計額合計	20,107	△26,537
少数株主持分	155,072	152,127
純資産合計	5,052,191	4,838,096
負債純資産合計	14,692,473	13,729,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
海運業収益	3,253,064	3,439,515
海運業費用	2,893,016	3,222,282
海運業利益	360,047	217,232
その他事業収益	73,878	72,688
その他事業費用	22,880	20,878
その他事業利益	50,998	51,809
営業総利益	411,045	269,042
一般管理費	304,533	297,789
営業利益又は営業損失(△)	106,512	△28,746
営業外収益		
受取利息	173	328
受取配当金	8,733	7,881
保険解約返戻金	—	19,935
燃料油売却益	—	10,450
その他営業外収益	1,419	1,401
営業外収益合計	10,326	39,998
営業外費用		
支払利息	63,817	72,375
支払手数料	35,224	17,639
為替差損	47,026	28,874
その他営業外費用	3,318	1,005
営業外費用合計	149,385	119,895
経常損失(△)	△32,547	△108,643
特別利益		
固定資産売却益	8,125	—
特別利益合計	8,125	—
特別損失		
投資有価証券評価損	27,000	52,693
退職特別加算金	1,414	—
特別損失合計	28,414	52,693
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,837	△161,336
法人税、住民税及び事業税	1,162	1,814
法人税等調整額	△17,516	△56,912
法人税等合計	△16,353	△55,097
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,483	△106,238
少数株主利益	1,475	232
四半期純損失(△)	△37,958	△106,470

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△36,483	△106,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,614	△48,343
その他の包括利益合計	△63,614	△48,343
四半期包括利益	△100,097	△154,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,771	△153,116
少数株主に係る四半期包括利益	△2,325	△1,465

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,837	△161,336
減価償却費	378,495	446,347
賞与引当金の増減額(△は減少)	600	△2,186
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,800	△8,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,048	△6,870
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	30,249	△85,585
受取利息及び受取配当金	△8,907	△8,210
支払利息	63,817	72,375
支払手数料	35,224	17,639
為替差損益(△は益)	64,976	30,737
無形固定資産売却損益(△は益)	△8,125	—
投資有価証券評価損益(△は益)	27,000	52,693
売上債権の増減額(△は増加)	△29,821	46,904
たな卸資産の増減額(△は増加)	91,142	△3,389
その他の資産の増減額(△は増加)	△50,800	207,654
仕入債務の増減額(△は減少)	△113,534	△43,625
前受金の増減額(△は減少)	△66,216	△259,039
その他の負債の増減額(△は減少)	△12,627	5,967
その他	173	△778
小計	335,960	300,496
利息及び配当金の受取額	8,907	8,210
利息の支払額	△64,117	△72,940
法人税等の支払額	△195,110	△24,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,640	210,926
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,908
有形固定資産の取得による支出	△919,900	△20,295
無形固定資産の売却による収入	8,125	—
投資有価証券の取得による支出	△1,987	△2,113
貸付金の回収による収入	200	800
その他の支出	—	△72
その他の収入	14,681	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△898,881	△23,588
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	62,000	10,000
長期借入れによる収入	914,064	—
長期借入金の返済による支出	△283,170	△278,670
支払手数料	△30,804	△30,779
配当金の支払額	△58,506	△57,267
少数株主への配当金の支払額	△1,480	△1,480
その他	△102	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	602,001	△358,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64,976	△28,829
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△276,216	△199,792
現金及び現金同等物の期首残高	2,112,859	1,954,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,836,642	1,754,814

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,574,150	678,914	3,253,064	73,878	3,326,943	—	3,326,943
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,574,150	678,914	3,253,064	73,878	3,326,943	—	3,326,943
セグメント利益	344,289	9,985	354,275	20,173	374,449	△267,937	106,512

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△267,937千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外航海運業	内航海運業	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,845,472	594,042	3,439,515	72,688	3,512,203	—	3,512,203
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,845,472	594,042	3,439,515	72,688	3,512,203	—	3,512,203
セグメント利益又は損失(△)	130,591	83,888	214,480	21,117	235,598	△264,344	△28,746

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△264,344千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、提出会社の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<p>当社は、平成24年10月23日付で当社所有の特殊船1隻の売買契約を締結いたしました。その概要は次のとおりであります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 譲渡する相手先：海外の第三者法人</li><li>2. 譲渡資産：特殊船「羽衣丸」（載貨重量10,520トン、船齢23年）</li><li>3. 譲渡の時期：平成25年1月</li><li>4. 譲渡利益：90,000千円</li></ol> <p>(注) 引渡時期により、譲渡利益が変動する可能性があります。</p>